乙第 53 号証 93

内甲 六三八

十八 十二 十四
决 十二 [illegible]

昭和十八年十二月十四日　内閣書記官長　内閣書記官

内閣總理大臣　法制局長官

外務大臣　海軍大臣　大東亞大臣　岸 國務大臣
內務大臣　司法大臣　農商大臣　大麻 國務大臣
大藏大臣　文部大臣　軍需大臣　後藤 國務大臣
陸軍大臣　厚生大臣　運輸通信大臣　藤原 國務大臣

別紙內務大臣請議都市計畫法及
同施行令戰時特例制定ノ件

二ト

法制局

国立公文書館
National Archives of Japan

法制局

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通
閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

朕都市計畫法及同法施行令戰時特例
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十八年十二月二十四日

内閣總理大臣
内務大臣

呈案附箋ノ通

（起案用紙市三ノ二號）

主任者　國土局計畫課長

法制局内第ノ七七號
昭和十八年十一月十三日

内務省發閣第一七一號

都市計畫法及同施行令戰時特例制定ノ件

大東亞戰爭ニ際シ都市計畫行政ノ簡素化ヲ圖ル爲都市計畫法及同施行令戰時特例制定ノ必要ヲ認ム依テ別紙勅令案ヲ提出ス

右閣議ヲ請フ

昭和十八年十一月十二日

内務大臣　安藤紀三郎

内閣總理大臣　東條英機殿

内甲七三八

勅令第九百四十一號

都市計畫法及同法施行令戰時特例

第一條　戰時行政特例法及許可認可等臨時措置法ノ規定ニ基ク都市計畫法、、、、、、、ノ特例竝ニ大東亞戰爭中ニ於ケル都市計畫法施行令、、、、、、、ノ特例ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　左ニ掲グル認可又ハ許可ハ之ヲ受クルヲ要セズ

一　法第三條ノ規定ニ依ル内閣ノ認可

二　法第十四條ノ規定ニ依ル主務大臣ノ認可

三　法第三十三條第三項但書ノ規定ニ依ル主務大臣ノ認可

四　都市計畫法施行二一本文ノ規定ニ依ル地方長官ノ許可

五　都市計畫法施行令第二條但書ノ規定ニ依ル内務大臣ノ認可

六　都市計畫法施行令第二十九條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ認可

都市計畫法第十三條第一項、第十六條第一項及第十九條ノ規定ノ適用ニ關シテハ同法第三條ノ規定ニ依ル都市計畫又ハ都市計畫事業ノ決定アリタル法施行ハ内閣ノ認可アリタルモノト看做ス

第三條　都市計畫法施行令第十三條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第四條　左ニ掲グル主務大臣ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ

一　都市計畫法第五條第二項及之ニ基ク同法施行令第五條乃至第七條ノ規定ニ依ル都市計畫事業執行ノ特許ニ關スルモノ

二　都市計畫法第六條第二項及之ニ基ク同法施行令第九條第四號若ハ同令第十條又ハ第十六條第二項ノ規定ニ依ル受益者負擔ニ關スルモノ

三　都市計畫法第七條ノ規定ニ依ル公共團體ノ負擔スベキ毎年度ノ金額ノ最低限度ノ決定ニ關スルモノ

四　都市計畫法施行令第二條ノ規定ニ依ル行政廳ノ、、都市計畫事業ノ執行ノ、、、命令スルモノ

五　都市計畫法施行令第三條ノ規定ニ依ル、、、、、、、、行政廳ノ指定ニ關スルモノ

六　都市計畫法施行令第十五條ノ規定ニ依ル公共團體ノ、、、土地區劃整理施行ノ命令ニ關スルモノ

施行令第十一條ノ二本文ノ規定ニ依ル地方長官ノ許可

令第二十八條但書ノ規定ニ依ル内務大臣ノ認可

令第二十九條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ認可

法第十三條第一項、第十六條第一項及、第十九條ノ規定ノ適用ニ關シテハ法第三條ノ規定ニ依ル都市計畫又ハ都市計畫事業ノ決定アリタルトキハ内閣ノ認可アリタルモノト看做ス

第三條　令第十三條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第四條　左ニ掲グル主務大臣ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ

一　法第五條第二項及之ニ基ク令第五條乃至第七條ノ規定ニ依ル都市計畫事業執行ノ特許ニ關スルモノ

二　法第六條第二項及之ニ基ク令第九條第四號若ハ、第十條又ハ、第十六條第二項ノ規定ニ依ル受益[illegible]ニ關スルモノ

三　法第七條ノ規定ニ依ル公共團體ノ負擔スベキ毎年度ノ金額ノ最低限度ノ決定ニ關スルモノ

四　令第二條ノ規定ニ依ル行政廳ノ、、都市計畫事業、執行、、、命令ニ關スルモノ

五　令第三條ノ規定ニ依ル、、、、、、、、行政廳ノ指定ニ關スルモノ

六　令第十五條ノ規定ニ依ル公共團體ノ、、、土地區劃整理施行ノ命令ニ關スルモノ

七　都市計画法施行令第三十條ノ規定ニ依ル建築物管理者ノ指定ニ關スルモノ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前主務大臣ニ對シ爲シタル出願ニシテ第四條第一號ニ係ルモノノ處理ニ關スル職權ニ付亦同條ノ例ニ依ル

第四條第二號ノ規定ハ本令施行前同號ニ揭グル規定ニ基キ主務大臣ノ發シタル命令ノ效力ヲ妨グルコトナシ但シ地方長官命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

理由

大東亞戰爭ニ際シ都市計畫法及同法施行令ニ依ル許可認可ヲ省略スルト共ニ主務大臣ノ職權ヲ地方長官ニ移讓シ以テ行政ノ簡素化ヲ圖ル等ノ要アルニ依ル

大日本帝國政府

参照

●都市計畫法

大正八年四月五日
法律第三十六號

改正　大正一二年第二七號、一五年第三八號
昭和六年第一五號、第三〇號、八年第二三號、九年第五四號、一五年第六〇號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル都市計畫法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

（總理、大藏、內務大臣副署）

都市計畫法

第一條　本法ニ於テ都市計畫ト稱スルハ交通、衞生、保安、經濟等ニ關シ永久ニ公共ノ安寧ヲ維持シ又ハ福利ヲ增進スル爲ノ重要施設ノ計畫ニシテ市若ハ主務大臣ノ指定スル町村ノ區域內ニ於テ又ハ其ノ區域外ニ亙リ施行スヘキモノヲ謂フ

第二條　都市計畫區域ハ市又ハ前條ノ町村ノ區域ニ依リ主務大臣之ヲ決定ス

主務大臣必要ト認ムルトキハ關係市町村及都市計畫委員會ノ意見ヲ聞キ前項ノ區域ニ拘ラス都市計畫區域ヲ決定スルコトヲ得

第三條　都市計畫、都市計畫事業及每年度執行スヘキ都市計畫事業ハ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ主務大臣之ヲ決定シ內閣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　都市計畫委員會ノ組織、權限及費用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　都市計畫事業ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳之ヲ執行ス

主務大臣特別ノ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政廳ニ非サル者ヲシテ其ノ出願ニ依リ都市計畫事業ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第六條　都市計畫事業ノ執行ニ要スル費用ハ行政官廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ公共團體、行政廳ニ非サル者之ヲ執行スル場合ニ在リテハ其ノ者ノ負擔トス

主務大臣必要ト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七條　主務大臣必要ト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依リ公共團體ノ負擔スヘキ每年度ノ金額ノ最低限度ヲ定ムルコトヲ得

第八條　削除

第九條　都市計畫區域內ニ存スル國有河岸地ニシテ公共ノ用ニ供セサルモノハ第六條ノ費用ヲ負擔スル公共團體ニ之ヲ下付スルコトヲ得

第十條　都市計畫區域內ニ於テハ市街地建築物法ニ依ル地域又ハ地區ノ指定、變更又ハ廢止ヲ爲ストキハ都市計畫ノ施設トシテ之ヲ爲スヘシ

都市計畫區域內ニ於テハ市街地建築物法ニ依ル地域及地區ノ外土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ風致又ハ風紀ノ維持ノ爲特ニ地區ヲ指定スルコトヲ得

第十一條　第十六條第一項ノ土地ノ境域內又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ指定スル地區內ニ於ケル建築物、土地ニ關スル工事又ハ權利ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條ノ二　都市計畫トシテ內閣ノ認可ヲ受ケタル公園、綠地若ハ廣場ノ境域內又ハ都市計畫トシテ內閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ノ區域內ニ於ケル建築物ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　都市計畫トシテ內閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ハ認可後一年內ニ其ノ施行ニ著手スル者ナキ場合ニ於テハ公共團體ヲシテ都市計畫

（閣定規格B5 一八二×二五七粍）

国立公文書館
National Archives of Japan

事業トシテ之ヲ施行セシム但シ災害其ノ他特別ノ事情ニ因リ特ニ急施ヲ要スル場合ニ於テハ認可後一年内ト雖モ之ヲ施行セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ公共團體ノ施行スル土地區劃整理ニ付耕地整理法ヲ準用シ難キ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十四條　地方長官土地區劃整理ノ設計ニ關スル認可ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條　土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ賃貸價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ定ム

第十五條ノ二　土地區劃整理ニ付テハ耕地整理法第四十三條ノ規定ニ拘ラス建物アル宅地ヲ土地區劃整理施行地區ニ編入スルコトヲ得

第十五條ノ三　土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路、廣場、運河、公園其ノ他ノ公共ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國又ハ公共團體ノ所有地ニ之ヲ編入ス

前項土地附近ノ土地ニシテ都市計畫事業トシテノ建築敷地造成ニ必要ナルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

第十七條　土地區劃整理ノ爲又ハ衞生上若ハ保安上ノ必要ニ依ル建築物ノ整理ノ爲必要アルトキハ建築物其ノ他ノ工作物ヲ收用スルコトヲ得

第十八條　前二條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外土地收用法ヲ適用ス

前項ノ規定ニ依ル土地收用法ノ適用ニ付テハ前條ノ工作物ハ之ヲ土地ト看做ス

第十九條　第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ付テハ第三條ノ規定ニ依ル都市計畫ノ認可ヲ以テ土地收用法ニ依ル事業ノ認定ト看做ス

第二十條　土地收用法第二十二條第一項ノ協議調ハサル場合又ハ其ノ協議ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ事業執行者ハ主務大臣ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ收用審査會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ損失ノ補償ノ協議ニ關シテハ之ヲ適用セス

第二十一條　第九條ノ規定ニ依リ下付ヲ受ケタル土地及第十六條第二項ノ規定ニ依リ收用シタル土地ノ處分及管理ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　都市計畫事業ニ依リ生シタル營造物ノ管理ニ付特ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ管理者ヲ定ム

第二十三條　行政執行法第五條及第六條ノ規定竝之ニ基キテ發スル命令ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ行フヘキ作爲又ハ不作爲ヲ行政廳カ强制スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分ニ依リ私人ノ義務ニ屬スル負擔金其ノ他ノ費用ハ行政廳國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位竝其ノ追徵還付及時效ニ付テハ行政廳ノ統轄スル公共團體ノ徵收金ノ例ニ依ル

第二十五條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第二十六條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附　則

第二十七條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正八年勅令第四百八十一號ヲ以テ大正九年一月一日ヨリ施行）

〔輯一〇九〕

第二十八條　東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則及大正七年法律第三十六號竝之ニ基キテ發シタル命令ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ヲ受クル市ハ第二條ノ規定ニ依リ指定セラレタルモノト看做ス

第三十條　東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號ニ依リ內閣ノ認可ヲ受ケタル設計又ハ議定シタル事業ハ各本法ニ依リ內閣ノ認可ヲ受ケタル都市計畫又ハ都市計畫事業ト看做ス

第三十一條　東京市區改正條例、東京市區改正土地建物處分規則若ハ大正七年法律第三十六號又ハ之ニ基キテ發シタル命令ニ依リ爲シタル處分ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ牴觸セサル限リ本法ニ依リ爲シタル處分ト看做ス

第三十二條　東京市區改正土地建物處分規則ノ適用又ハ準用ニ依リ行政廳ノ爲シタル處分ニ關シテハ同規則第一條第二項乃至第四項ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第三十三條　東京市區改正條例又ハ大正七年法律第三十六號大正七年勅令第百八十四號ニ依リ下付ヲ受ケタル官有ノ河岸地ハ其ノ下付ヲ受ケタル市ノ所有ニ屬スル間地租ヲ免除ス但シ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ河岸地ヨリ收入スル金額ハ其ノ市ノ都市計畫事業ノ終ル迄之ヲ他ニ支出スルコトヲ得ス

第一項ノ河岸地ノ下付ヲ受ケタル市ハ之ヲ賣却讓與スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル場合ニ於テ都市計畫委員會ノ議決ヲ經テ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附　則（昭和八年法律第二十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年勅令第八十三號ヲ以テ昭和八年五月十日ヨリ施行）

〔輯一〇九〕

昭和十五年四月一日
法律第七十六號

~~朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル都市計畫法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、內務大臣副署）~~

~~都市計畫法中左ノ通改正ス~~

~~第一條中「保安、」ノ下ニ「防空、」ヲ加フ~~

~~**第十一條ノ二**　都市計畫トシテ內閣ノ認可ヲ受ケタル公園、綠地若ハ廣場ノ境域內又ハ都市計畫トシテ內閣ノ認可ヲ受ケタル土地區劃整理ノ區域內ニ於ケル建築物ニ關スル制限ニシテ都市計畫上必要ナルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム~~

~~第十五條ノ二中「建物アル宅地」ノ下ニ「又ハ墳墓地」ヲ加フ~~

~~**第十五條ノ三**　土地區劃整理ノ施行ニ因リ道路、廣場、運河、公園其ノ他ノ公共ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國又ハ公共團體ノ所有地ニ之ヲ編入ス~~

~~第十六條中「公園」ノ下ニ「、綠地」ヲ加フ~~

~~**附　則**~~

~~本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム~~

●都市計畫法施行令

大正八年十一月二十八日
勅令第四百八十二號

改正　大正一〇年勅四一六號
昭和四年勅三九五號、六年勅四五號、八年勅八四號、一〇年勅一二一號

朕都市計畫法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム（總理、大藏、內務大臣副署）

都市計畫法施行令

大日本帝國政府

第一條 都市計畫事業ハ市又ハ都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指定スル町村ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行ス

第二條 市又ハ前條ノ町村ノ區域外ニ於テ又ハ區域外ニ亙リ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ內務大臣區域外ニ於ケル事業カ主トシテ區域外ノ公共團體ノ利害ニ關スト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス其ノ公共團體ヲ統轄スル行政廳ヲシテ區域外ニ於ケル事業ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條 內務大臣都市計畫事業カ分割シテ之ヲ執行スルコト困難又ハ不利益ト認ムルトキ其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス事業ヲ執行スヘキ行政廳ヲ指定スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ行政官廳都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ之ヲ適用セス

第五條 行政廳ニ非サル者ヲシテ執行セシムルコトヲ得ル都市計畫事業ノ種類及範圍ハ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ內務大臣之ヲ定ム

第六條 行政廳ニ非サル者都市計畫事業ヲ執行セムトスルトキハ內務大臣ニ特許ヲ申請スヘシ

第七條 內務大臣ハ前條ノ特許ニ都市計畫上其ノ他公益上必要ト認ムル條件ヲ附スルコトヲ得

第八條 第六條ノ特許ヲ受ケタル者事業ヲ實施セムトスルトキハ設計書ヲ添附シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス

一 行政官廳ノ執行スル事業ニ因リ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ

二 事業地ノ公共團體以外ノ公共團體ヲ又ハ上級公共團體ヲ統轄スル行政廳ニ於テ執行スル事業ニ因リ事業地ノ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ

三 事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ又ハ其ノ營造物ヲ利用スルニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ

四 前各號ノ外都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニシテ內務大臣ヨリ指定セラレタルモノアルトキ

第十條 都市計畫法第六條第二項ノ規定ニ依リ負擔セシムル費用ノ金額及其ノ負擔方法ニ付テハ關係市町村長ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ內務大臣之ヲ定ム

第十一條 都市計畫法第十六條第一項ノ土地ノ境域內ニ於テ工作物ヲ新築、改築增築若ハ除却シ、土地ノ形質ヲ變更シ又ハ地方長官ノ指定シタル竹木土石ノ類ヲ採取セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條ノ二 都市計畫法第十一條ノ二ノ公園、綠地若ハ廣場ノ境域內又ハ同條ノ土地區劃整理ノ區域內ニ於テ建築物ヲ新築、改築又ハ增築セントスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セズト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

ノ條件上必要ナル條件ヲ
工作物ノ新築改築增築者
取其ノ他風致維持ニ影響
ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ禁
命令ニ又ハ第十二條ノ條

件ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命スルコトヲ得

第十五條 都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依ル公共團體ノ土地區劃整理ノ施行ハ內務大臣之ヲ命ス

第十六條 前條ノ土地區劃整理ノ施行ニ要スル費用ハ整理地區內ノ土地所有者又ハ關係人ノ負擔トス

前條ノ土地區劃整理ノ地區外ノ土地所有者又ハ關係人ニシテ其ノ施行ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ內務大臣ノ定ムル區域ニ依リ之ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十七條 公共團體第十五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ設計書、費用負擔方法及耕地整理法ニ基ク規約ニ代ルヘキ必要事項ヲ定メ之ヲ告示シ十日間土地所有者及關係人ノ縱覽ニ供シタル後地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人前項ノ規定ニ依リ定メタル設計書、費用負擔方法其ノ他ノ事項ニ關シ異議アルトキハ前項ニ掲ケタル期間內ニ地方長官ニ之ヲ申出ツルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル異議ノ申出アリタルトキハ地方長官ハ都市計畫委員會ノ議決ニ付スヘシ

地方長官ハ前項ノ議決カ第一項ノ規定ニ依リ定メタル設計書、費用負擔方法其ノ他ノ事項ノ變更ヲ必要トスルトキハ公共團體ニ其ノ變更ヲ命スヘシ公共團體カ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ變更シタル部分ニ付第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 前三條ノ土地所有者及關係人ノ意義ニ關シテハ耕地整理法ノ定ムル所ニ依ル

第十九條 第十五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テノ耕地整理法ノ準用ニ關

（參二七）

一 耕地整理法第十一條第一項ノ廢止シタルモノニ代ルベキモノノ用ニ供スル土地ハ國ノ所有地ニ之ヲ編入ス

（參五一）

二 前號ノ規定ニ該當スル土地以外ノ土

ハ條ノ組合ハ土地區劃
項及第四十四條ノ耕地
整理組合ノ地區ハ土地區劃整理ノ地區トス

第二十條 土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ賃貸價格ニ關シテハ耕地整理法第十二條乃至第十三條ノ二、第十四條第二項、第三項、第十四條ノ二乃至第十六條及第十六條ノ三乃至第十六條ノ八ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ大正七年法律第四十三號ノ規定ニ依ル地租變更免租年期ヲ有スル土地及同法第一條第一項各號ニ掲グル土地ハ之ヲ耕地整理法第十五條第一項ニ掲グル免租年期ヲ有スル土地ト看做ス

土地區劃整理ノ施行ニ依リ開墾、地目變換又ハ地類變換ヲ爲シメタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ地租法第九條第三項ノ規定ニ準シ其ノ賃貸價格ヲ修正シ修正賃貸價格ヲ以テ耕地整理法第十三條第二項ノ現賃貸價格トス

第一項ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ耕地整理法第十四條第二項、第三項及第十四條ノ三、第十五條、第十六條、第十六條ノ八中ノ同法第十四條第一項ノ規定ト看做ス

第二十條ノ二 前條第一項ノ規定ニ依ル耕地整理法第十三條ノ規定ノ準用ニ付テハ同條第二項但書中第十一條第二項ノ規定ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ地積トアルハ都市計畫法第十五條ノ三ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ所有地ニ編入シタル土地ノ地積トシ整理施行地區內ノ土地ノ現賃貸價格トアルハ整理施行地區內ノ土地中前條第二項ノ土地ノ從前ノ賃貸價格及其ノ他ノ土地ノ現賃貸價格トス

下水道、土地區劃整理、
、火葬場、屠獸場及
計畫法第十六條第一項ノ
依ル收用又ハ使用ハ土地
スコトヲ得
土地區劃整理ノ工事完了
ス
付テハ左ニ掲クル者ニ對シ

一

第一條　都市計畫事業ハ市又ハ都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ指定スル町村ヲ統轄スル行政廳之ヲ執行ス

第二條　市又ハ前條ノ町村ノ區域外ニ於テ又ハ區域外ニ亘リ都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ於テ內務大臣區域外ニ於ケル事業カ主トシテ區域外ノ公共團體ノ利害ニ關スト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラス其ノ公共團體ヲ統轄スル行政廳ヲシテ區域外ニ於ケル事業ヲ執行セシムルコトヲ得

第三條　內務大臣都市計畫事業カ分割シテ之ヲ執行スルコト困難又ハ不利益ト認ムルトキ其ノ他特別ノ事情アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ拘ラス事業ヲ執行スヘキ行政廳ヲ指定スルコトヲ得

第四條　前三條ノ規定ハ行政官廳都市計畫事業ヲ執行スル場合ニ之ヲ適用セス

第五條　行政廳ニ非サル者ヲシテ執行セシムルコトヲ得ル都市計畫事業ノ種類及範圍ハ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ都市計畫委員會ノ議ヲ經テ內務大臣之ヲ定ム

第六條　行政廳ニ非サル者都市計畫事業ヲ執行セムトスルトキハ內務大臣ニ特許ヲ申請スヘシ

第七條　內務大臣ハ前條ノ特許ニ都市計畫上其ノ他公益上必要ト認ムル條件ヲ附スルコトヲ得

第八條　第六條ノ特許ヲ受ケタル者事業ヲ實施セムトスルトキハ設計書ヲ添附シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ非サレハ都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ事業ノ執行ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ス

一　行政官廳ノ執行スル事業ニ因リ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ

二　事業地ノ公共團體以外ノ公共團體又ハ上級公共團體ヲ統轄スル行政廳ニ於テ執行スル事業ニ因リ事業地ノ公共團體カ著シク利益ヲ受クルトキ

三　事業ニ因リ生シタル營造物カ他ノ工作物ト效用ヲ兼ヌルニ因リ著シ

地ハ行政廳ニ於テ土地區劃整理ヲ施行シタル場合ニ在リテハ國ノ所有地ニ、公共團體ニ於テ土地區劃整理ヲ施行シタル場合ニ在リテハ其ノ公共團體ノ所有地ニ、其ノ他ノ者ニ於テ土地區劃整理ヲ施行シタル場合ニ在リテハ地方長官ニ於テ土地區劃整理施行者ノ申請ニ依リ特別ノ事情アリト認メタル場合ヲ除クノ外其ノ土地所在市町村ノ所有地ニ之ヲ編入ス

內閣總理大臣　公爵　近衞　文麿

利用スルニ因リ著シク利

ヲ受クル者ニシテ內務大

得セシムル費用ノ金額及

キ都市計畫委員會ノ議ヲ

域內ニ於テ工作物ヲ新築

地方長官ノ指定シタル竹

可ヲ受クヘシ但シ命令ヲ

在ラス

第十二條　地方長官ハ前條ノ許可ニ都市計畫事業ノ執行上必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

第十三條　風致維持ノ爲指定スル地區內ニ於ケル工作物ノ新築改築增築若ハ除却、土地ノ形質ノ變更、竹木土石ノ類ノ採取其ノ他風致維持ニ影響ヲ及ホス虞アル行爲ハ地方長官內務大臣ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第十四條　地方長官ハ第十一條ノ規定ニ、前條ノ命令ニ又ハ第十二條ノ條

大日本帝國政府

件ニ違反シタル者ニ對シ原狀回復ヲ命スルコトヲ得

第十五條　都市計畫法第十三條第一項ノ規定ニ依ル公共團體ノ土地區劃整理ノ施行ハ內務大臣之ヲ命ス

第十六條　前條ノ土地區劃整理ノ施行ニ要スル費用ハ整理地區內ノ土地所有者又ハ關係人ノ負擔トス

前條ノ土地區劃整理ノ地區外ノ土地所有者又ハ關係人ニシテ其ノ施行ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ內務大臣ノ定ムル區域ニ依リ之ヲシテ其ノ受クル利益ノ限度ニ於テ前項ノ費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十七條　公共團體第十五條ノ規定ニ依リ土地區劃整理ノ施行ヲ命セラレタルトキハ設計書、費用負擔方法及耕地整理法ニ基ク規約ニ代ルヘキ必要事項ヲ定メ之ヲ告示シ十日間土地所有者及關係人ノ縱覽ニ供シタル後地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

土地所有者又ハ關係人前項ノ規定ニ依リ定メタル設計書、費用負擔方法其ノ他ノ事項ニ關シ異議アルトキハ前項ニ掲クル期間內ニ地方長官ニ之ヲ申出ツルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル異議ノ申出アリタルトキハ地方長官ハ都市計畫委員會ノ議決ニ付スヘシ

地方長官ハ前項ノ議決カ第一項ノ規定ニ依リ定メタル設計書、費用負擔方法其ノ他ノ事項ノ變更ヲ必要トスルトキハ公共團體ニ其ノ變更ヲ命スヘシ公共團體カ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ變更シタル部分ニ付第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條　前三條ノ土地所有者及關係人ノ意義ニ關シテハ耕地整理法ノ定ムル所ニ依ル

第十九條　第十五條ノ土地區劃整理ノ施行ニ付テノ耕地整理法ノ準用ニ關シテハ同法第四十二條ノ二、第四十七條及第四十八條ノ組合ハ土地區劃整理ヲ施行スル公共團體トシ同法第四十三條第一項及第四十四條ノ耕地整理組合ノ地區ハ土地區劃整理ノ地區トス

第二十條　土地區劃整理ヲ施行シタル土地ノ賃貸價格ニ關シテハ耕地整理法第十二條乃至第十三條ノ二、第十四條第二項、第三項、第十四條ノ二乃至第十六條及第十六條ノ三乃至第十六條ノ八ノ規定ヲ準用ス此ノ場合

第二十條ノ三　都市計畫法第十五條ノ三ノ公共ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土地トハ土地區劃整理ノ施行ニ因リ新設又ハ擴築シタル道路、廣場、堤塘、溝渠、運河、河川、公共物揚場、公園又ハ綠地ノ用ニ供スベキモノト爲リタル土地ヲ謂フ

第二十條ノ四　前條ニ揭グル土地ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依リ無償ニテ國又ハ公共團體ノ所有地ニ之ヲ編入ス

地積變更免租年期ヲ有ス

之ヲ耕地整理法第十五條

地類變換ヲ爲シタル場合

地ニ對シ從前ノ地域ニ依

格ヲ修正シ修正賃貸價格

トス

第十四條第二項、第三項

條ノ八中ノ同法第十四條

第二十一條　鐵道、軌道、運河、飛行場、水道、下水道、土地區劃整理、運動場、一團地ノ住宅經營、市場、屠場、墓地、火葬場、塵埃處理場及防風、防火、防水、防砂又ハ防潮ノ施設ハ都市計畫法第十六條第一項ノ規定ニ依リ之ヲ指定ス

第二十二條　都市計畫法第十六條第二項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ハ土地區劃整理ヲ施行スル必要アル場合ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　前條ノ規定ニ依リ收用シタル土地ハ土地區劃整理ノ工事完了後ニ非サレハ之ヲ賣却シ又ハ貸付スルコトヲ得ス

第二十四條　前條ノ規定ニ依ル土地ノ賣却又ハ貸付ハ左ニ掲クル者ニ對シ

法　制　局

大日本帝國政府

国立公文書館
National Archives of Japan